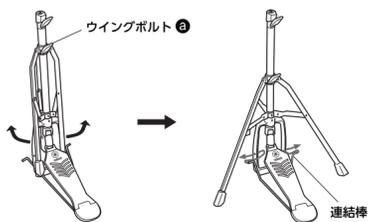




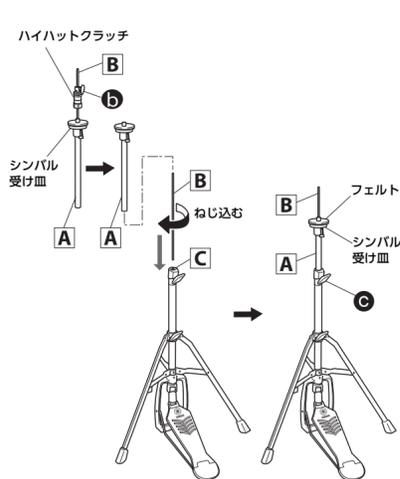
## ハイハットスタンドの組み立て/ハイハットシンバルパッドの組み立て

1. ハイハットスタンドのウイングボルト(下図④)をゆるめます。
2. 下図のように三脚部を広げ、手順1でゆるめたウイングボルトを締めて固定します。
3. 下図のように連結棒をフレームの穴に差し込みます。



4. ハイハットクラッチのウイングボルト(右図⑤)をゆるめてハイハットクラッチを外します。  
※ここで外したハイハットクラッチは本説明書の組み立て例では使用しないので、安全な場所に保管しておいてください。代わりにRHH135付属のハイハットクラッチを使用します。

5. 上パイプ[A]からハイハットシャフト[B]を引き抜きます。
6. 手順5で引き抜いたハイハットシャフト[B]を下パイプ[C]のナットにねじ込みます。
7. 上パイプ[A]をハイハットシャフト[B]の上から差し込み、シンバル受け皿がハイハットシャフト[B]の中間となる位置でウイングボルト(右図⑥)を締めて固定します。
8. シンバル受け皿の上に乗っているフェルトは本説明書の標準的な組み立て例では使用しませんので、外しておきます。
9. リアルハイハットパッドRHH135を取り付けます。  
※RHH135取扱説明書の「セッティングのしかた」をご覧ください。



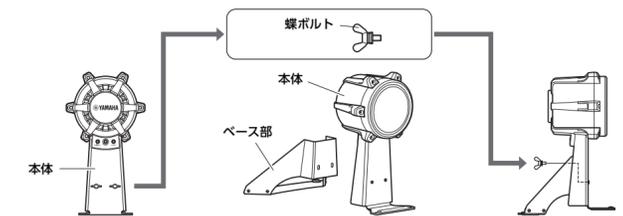
### 重要

・使用しているうちにハイハットシャフトがゆるみ、ハイハットパッドが回転することがあります。性能が十分に出なくなることがありますので、ハイハットシャフトを定期的になじ込み、ハイハットパッドの位置を調整し直してください。

## キックパッドの組み立て

1. キックパッドの本体から蝶ボルトをいったん外して近くに置きます。
2. 右図のようにベース部を本体に組み付け、手順1で外した蝶ボルトをベース部側から取り付けて固定します。

**NOTE**  
フットペダル(別売)の取り付けについては、KP90取扱説明書の「KP90の組み立て方」をご覧ください。

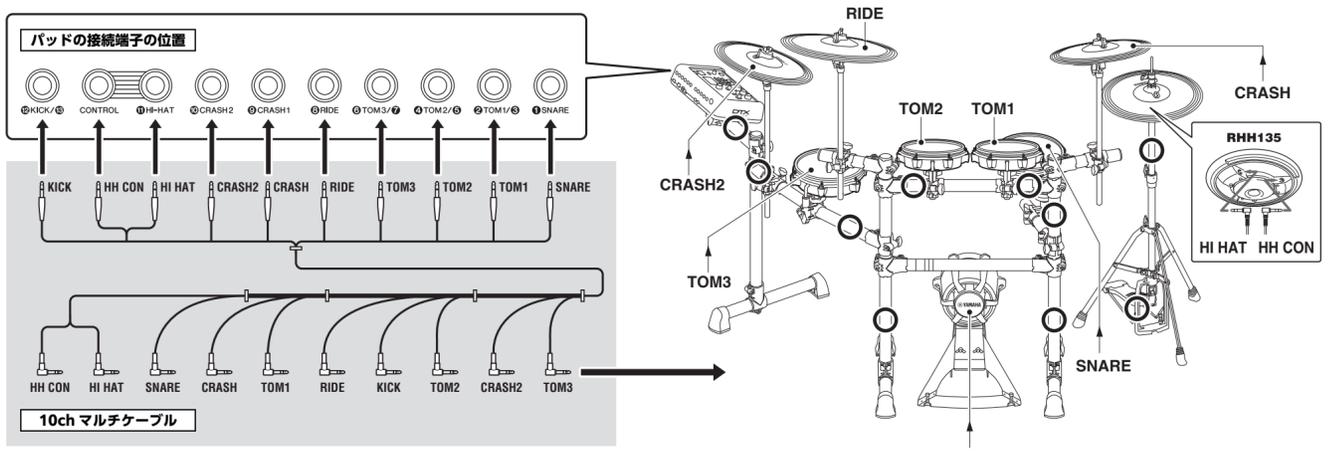


4. 本紙おもて面の『組み立て例』を参考に、ハイハットスタンドとキックパッドを配置します。

**ご注意** ・キックパッドと電子ドラムラックが当たるのを防ぐため、電子ドラムラックの支柱(中央)の高さを下げ過ぎないようにご注意ください。

5. パッドと音源モジュールを10chマルチケーブルで接続します。

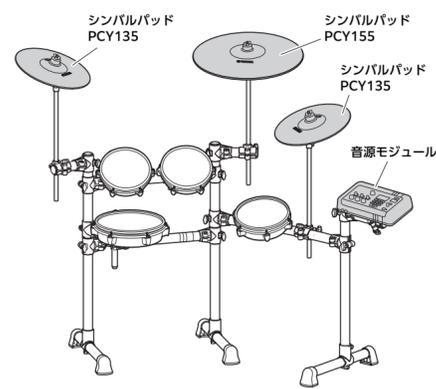
1. 音源モジュールのリアパネルの①~⑩のトリガー入力端子(下図)に、10chマルチケーブルのストレートプラグを差し込みます。  
・標準セットアップでは、各プラグのシールに印字されているパッド名の記号に合わせて10chマルチケーブルを接続します。
2. 10chマルチケーブルのL字プラグを各パッドの端子に差し込みます。



3. ケーブルバンドを使い、右図の○位置を参考にケーブルをラックに沿わせて固定します。

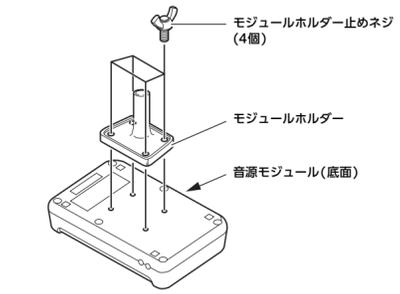
音源モジュールに近いほうからケーブルバンドを止めると、綺麗にセッティングできます。

## 音源モジュール/シンバルパッドの取り付け

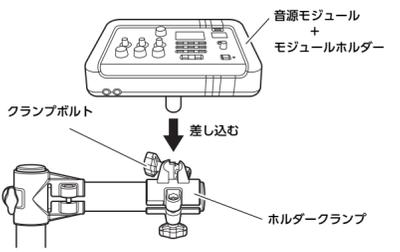


### ■音源モジュールの取り付け

1. 音源モジュールに付属のモジュールホルダー止めネジを使って、音源モジュール底面にモジュールホルダーを取り付けます。

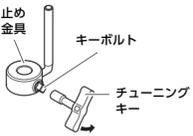


2. モジュールホルダーをホルダークランプに差し込み、クランプボルトを締めて固定します。

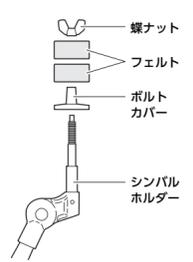


### ■シンバルパッドの取り付け

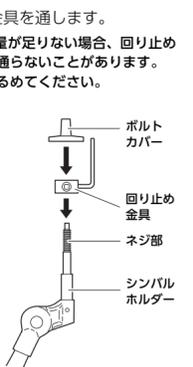
1. 回り止め金具のキーボルトを、チューニングキーを使ってゆるめます。



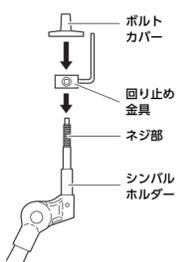
2. シンバルホルダーから、蝶ナット、フェルト(2個)、ボルトカバーを外します。



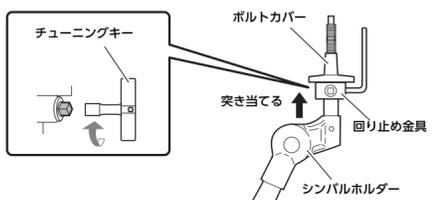
3. シンバルホルダーに回り止め金具を通します。  
※手順1でキーボルトをゆるめる量が足りない場合、回り止め金具の穴にシンバルホルダーが通らないことがあります。キーボルトが外れない程度にゆるめてください。



4. ボルトカバーを取り付けます。  
※ボルトカバーは、回転させながらネジ部にねじ込み、しっかりと固定させます。



5. 下図のように、回り止め金具をボルトカバー下面に当てた状態にし、チューニングキーを使ってキーボルトを締め、固定します。

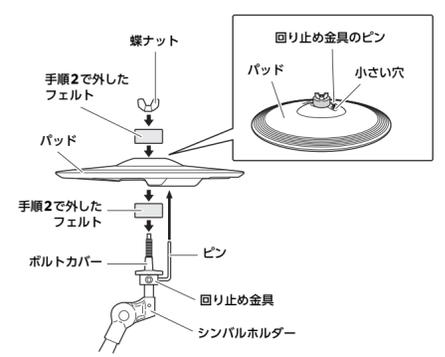


6. シンバルホルダーに、手順2でシンバルホルダーから外したフェルトを1つ通します。

7. パッドを取り付けます。シンバルホルダーの先端をパッド中央の穴に通し、回り止め金具のピンをもうひとつの小さい穴に通します。  
※回り止め金具のピンがシンバルパッドの小さい穴に十分に届いていない状態で演奏すると、ピンが穴から外れる可能性があります。回り止め金具は、必ず手順5で指定している位置に固定してください。

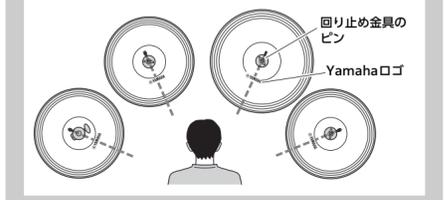
8. 手順2でシンバルホルダーから外したもう1つのフェルトを取り付けます。

9. 蝶ナットを締めてパッドとシンバルホルダーを固定します。



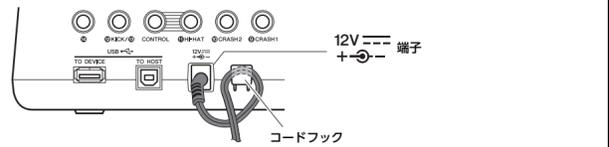
### 重要

・Yamahaロゴに近い位置を叩くと、快適な演奏感が得られます。自然にYamahaロゴ付近を叩けるよう、シンバルパッド/ハイハットパッドの位置を調整してください。シンバルパッド/ハイハットパッドのYamahaロゴが、演奏者の位置から見て正面に見えるのが正しいセッティング位置です。下図を目安に、回り止め金具の向きを調整することで、シンバルパッドの向きが適切になります。また、ハイハットクラッチの取り付け向きを調整することで、ハイハットの向きが適切になります。



6. 音源モジュールに電源アダプターを接続し、電源を入れます。

1. 電源アダプターのDCプラグを12V端子に接続します。電源コードが抜け落ちないようにコードフックに巻きつけて固定します。



2. 電源アダプターのもう一端(電源プラグ)を家庭用(AC100V)コンセントに接続します。

3. [MASTER VOLUME] ノブを左に回し音量を最小にします。

4. [ON](スタンバイ/オン)スイッチを押して電源を入れます。  
購入後初めて電源を入れた場合は、初期設定(トリガーセットアップウィザード)の画面が表示されます。そのまま手順7に進んでください。

**既に電源を入れ初期設定が終わっている場合**  
下記の手順を実施してから手順7に進んでください。  
1. [MENU] ボタンを押します。  
2. 「Job」⇒「Trigger」⇒「Trigger Setup」の順に選択します。  
この場合、手順7のイラストと本体画面の表示が異なりますが、トリガーセットアップの操作にはありません。

7. 音源モジュールのトリガーセットアップを設定します。

### 重要

・パッドを叩いたときの感度を適切な状態にするため、この手順を必ず実行してください。  
・下記手順2で「DTX6K5-M」が表示されない場合は、ファームウェアのアップデートが必要です。詳細はヤマハのウェブサイトをご覧ください。

1. 下図の矢印で示したボタンを押します。
2. 「DTX6K5-M」が表示されたら、矢印のボタンを押します。
3. 確認のメッセージが表示されたら、矢印のボタンを押します。



・キックパッドの出力(LEVEL)調整:  
キックパッドKP90のレベル調節つまみで、トリガー出力をお好みの大きさに調節できます。詳しくはKP90取扱説明書の「出力調整」をご覧ください。  
・電子ドラムラックの脚の位置調整:  
電子ドラムラックの揺れなどが気になる場合は、RS6取扱説明書の「ラックの組立」の4-1~4-3をご覧ください。脚の位置調整を行ってください。

実際に音を出すなど、これ以降の手順については、音源モジュールの取扱説明書をご覧ください。